女性の立場で物申す

第31回南国市連合婦人会模擬市議会

南国市連合婦人会（別役敏子会長）の主催で、結成以来毎年開かれている市政会議が、二月二十七日、連合婦人会や執行部から約八十人が参加して市役所で行われました。

三十一回目を迎えた今回は、新風を吹き込んでみようと模擬市議会という形で実施。連合婦人会のメンバーが執行部と議員に分かれ、別役雅子、坂本和子、土居与千代、坂本秋子の四議員から女性の登用やし尿処理場の問題等について質問し模擬執行部より答弁が行われました。また、それぞれの質問に対して大町市長以下市の執行部からも答弁が加えられました。

主な内容は次のとおりです。

別役　雅子議員
（大篠）

▼職員の年功序列の昇進体制

◎模擬執行部答弁

職員の年功序列の昇進体制と女性の登用は、これから職員の勤務体制を十分把握し、同じレベルで公平な立場で能力主義で昇進を考えたいと思います。それによって市政も明るく、活発になってくると思います。

◎執行部答弁

年功序列の昇進は過去にはありましたが、最近は女性も含め公平な登用をやっており今後も続けていきます。特に最近はすべての職場へ女性を登用していかないと人事の配置ができないような状態になっています。

▼し尿処理場の問題

◎模擬執行部答弁

し尿処理の問題は市民の日常生活にとって欠くことのできない問題です。現在前浜し尿処理施設を予定しており、土地買収を終え個人的に話し合いをしているところです。なるべく早く実行したいと考えていますが、広域下水道との関連から先を見据えた対応が必要と思います。

◎執行部答弁

し尿処理場は、既に六億四千二百万円をかけ土地の取得を終わっています。広域下水道との関連から処理量等いろいろの問題がありますが、できれば平成四年には国の認可を取り付けるように努力していきます。

坂本　和子議員
（長岡）

▼ごみ問題

◎模擬執行部答弁

今、増え続けるごみによる環境破壊が深刻さを増しています。リサイクル法が昨年十月二十五日に施行され、当市としても大いにやっていかなければいけないところですが、行政だけではできない問題であり市民一人ひとりに協力をお願いし、一体となって取り組んでいかなければなりません。リサイクルルートの確立に向けて積極的に取り組みたいと思います。

◎執行部答弁

南国市では金属ごみを分解し、金属は平成二年度で七百トン台のリサイクルをしています。また、可燃物のごみを減らすためコンポスターの普及にも取り組んでいます。そして、衛生委員会制度を採用するなど南国市方式でやっています。もちろん万全ではないので、リサイクル率を上げていかなければなりません。

▼十市パークタウン観光ルート整備

◎模擬執行部答弁

十市パークタウン周辺には、峰寺、石土神社などがあり、車や人の出入りがたいへん多くなると考えられます。池の周りに休憩所をつくりお茶のサービスや地元でとれたチリメンジャコ、やまももなどの販売をしてはどうでしょうか。地元の方と話し合い、池の東周りは花のある遊歩道、池から峰寺へ登れる階段、峰寺には太平洋を望めるタワーをつくることを考えています。

土居与千代議員
（十市）

◎執行部答弁

石土池、峰寺など十市パークタウン周辺地域は観光ルートの面で観光客が増えていると認識しています。石土池、峰寺をいかすことによって観光、さらには地域の活性化に役立っていくと考えていかなければなりません。現在石土池のバードウオッチングなど市の観光マップもこれらを含めて見直しをしていこうと検討しています。さらに、地区の方々、市の観光協会と話をしながら池周辺の整備、環境美化について前向きに努力していきます。

▼文化会館の建設

◎模擬執行部答弁

文化会館は、県立文化ホール誘致を吾岡山へ設立の運動が広まっています。それだけ市民にとって文化会館設立を強く希望しているところです。近代的な建物で多目的にいつでも誰でも自由に使える創造性豊かなセンスあふれる文化会館を一日も早く設立できるように努力していきます。

◎執行部答弁

知事に教育、文化、スポーツの拠点づくりとして新しい県民文化ホール誘致による吾岡山文化の森公園を整備、土佐まほろばの里づくりと南四国国体をめざしたスポーツ運動公園の整備のため、「地方拠点都市地域の整備および産業業務施設の再配置の促進に関する法律」（地方拠点都市整備法）に南国市をぜひ指定してほしいと要望しました。この特別法に指定されると大きな公共投資資金を得ることができます。

坂本　明子議員
（瓶岩）

文化会館は、今まで決まっている市民会館の方向を含めてどのように進めていくのか、委員会を中心に庁内、議会、市民の皆さんと話し合っていくことがこれからのスケジュールになります。

▼生涯学習の推進

◎模擬執行部答弁

生涯学習を定義づけると、生きがいであり、何かしていてよかったと思うことではないでしょうか。そしてそのきっかけをつくることが大切だと思います。生涯学習は学習活動のみでなく、地域活性化にも結び付いています。教育委員会以外の行政部局の横のつながりを持った行政機構のトップに生涯学習課の位置付けを考えています。

◎執行部答弁

生涯学習の基本となることは一人ひとりが心豊かな生きがいに満ちた人生を送るために学ぶということです。そのために市長部局と教育委員会の総合行政で市民の生涯学習推進に取り組んでいます。南国市の地域性を生かした生涯学習の町づくりをめざしていきたいと思います。

地方拠点都市の指定要望案を可決

最後に、大町市長の答弁を受け、末政須賀子議員より「地方拠点都市整備法」の地域指定を受けるよう県知事に要請する議案が出され、全会一致で承認されました。

模擬執行部の皆さん